

別冊付録

Boat CLUB for ビギナーズ vol.2
レンタルボートで始めよう

第25巻2号 通巻288号 2023年2月1日発行(毎月1回1日発行)

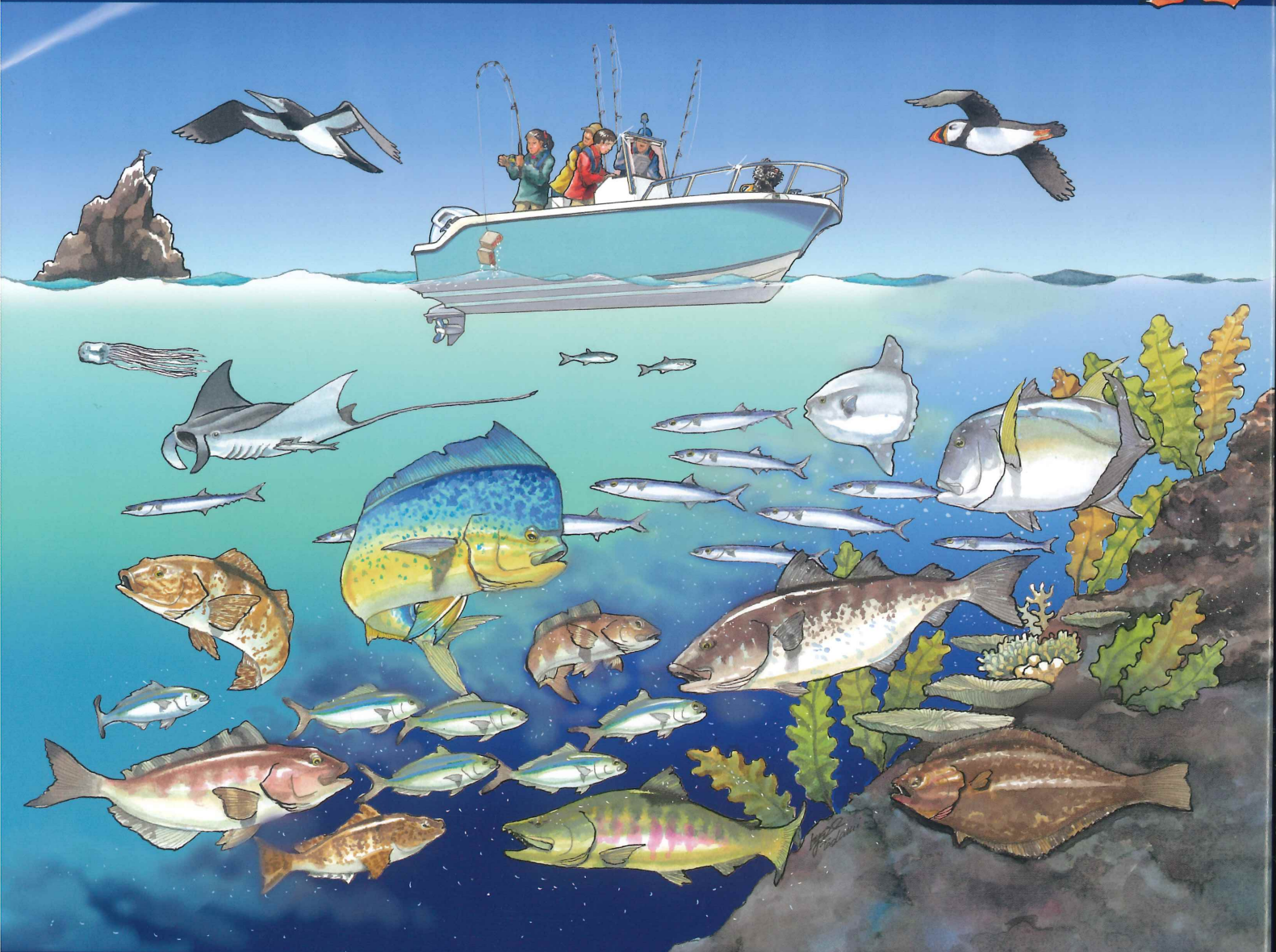
ボート倶楽部

BOAT CLUB

FEBRUARY 2023
2

[特集] 変化する海の様相

沿岸域の加速する変化、黒潮大蛇行がもたらす影響、
海洋プラスチックゴミ問題、魚種交替の現状などを深掘り!



[Boat Fishing]

みっちい、愛艇で娘の4歳初釣行へ
須江船長に学ぶビッグベイトゲーム
小野信昭が挑む3色のアマダイ

[Boat]

ジャーナー・メリーフィッシャー695
スポーツ・セリエ2

こあじろ・シーボニアマリーナ海の駅 (リビエラシーボニアマリーナ)



絶景と自然を堪能できる隠れ家的マリーナ、リビエラシーボニアマリーナの棧橋にて。右奥には2022年夏にオープンした宿泊施設、スペースキーポイントが見える



スタッフのみなさん。右から、ハーバースターの横川 哲さん、ハーバーフロントの安東紀子さん、海洋普及の藤本 諒さん、ハーバーの宇津木玲桜さん



四季折々の地産地消の創作料理が楽しめる、シーボニアクラブハウスレストラン(上)。季節ごとに変わる限定デザート(左)。取材の日は、アップルタタンとスフレフロマージュ(1,320円)が供される期間にあっていた

リビエラシーボニアマリーナ

住所：神奈川県三浦市三崎町小網代 1286
TEL：046-882-1212
<https://www.riviera.co.jp/marina/seabornia/>
[アクセス]
クルマ：衣笠ICより約23分
電車：京急久里浜線三崎口駅からクルマで約10分
バス：シーボニア入口バス停で下車。徒歩約3分

小網代湾から相模湾を経て 静けさに包まれる美しき湾へ

小網代～油壺湾



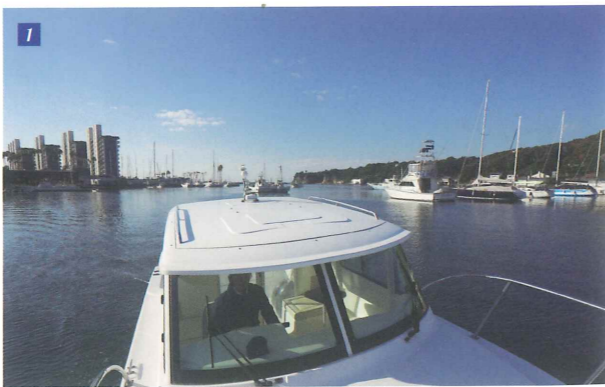
1 リビエラシーボニアマリーナが提供する「海の散歩クルーズ」は70分6,600円(サンセットクルーズは8,800円)。ボートはヤマハのFR-23で5人まで同料金。[小網代][油壺]の2コースあり



2 2022年4月入社した藤本 諒(ふじもと・りょう)さんはマリーナ業務全般、散歩クルーズの船長も担当。中学生まで江の島ヨットクラブ ジュニアに所属していたという、葉山育ちの海好き女性



3 4 セールクロスで作られた頑丈かつスタイリッシュなワッツ・バッグが買える直営店はリビエラシーボニアマリーナ至近。カラフルで豊富な品ぞろえ
■Watts油壺店 TEL：046-882-3033



秋もそろそろ終わりという11月下旬のよく晴れた朝、取材班はリビエラシーボニアマリーナの藤本諒さんのもとへ集合、いざ海の散歩クルーズ(＋α)へ！
まずは西へと走り相模湾の大海原へ。ほどなく船首を南へ転じて回り込むと、20分ほどの航程で油壺湾に到着する。
静かで美しい天然の入り江にアソビタイムを過ごそう。
(今回は取材のため先を急いだ、実際のツアーでは)地名の由来や地元のゆかりの三浦一族の興亡、油壺における海洋研究などの話を聞きつつ、油壺の見どころを洋上から見学する。

天然の入り江、油壺湾

ボートなどなど、実にさまざまなボートの楽しみが提供されていることだ。その中で今回注目したいのが「海の散歩クルーズ」。小網代湾をのんびり巡る「小網代コース」と、相模湾を経て歴史深き油壺湾を巡る「油壺コース」の2コースが設定されている。いずれもネイチャーガイドによる案内付きで70分たっぷり誰でも楽しめる。

湾、森、港、マグロをめぐる 笑顔あふれる水上の小旅行

小網代湾を航行中、ドローンにて撮影。奥に広がる小網代の森には、森、川、海のつながりが必要なアカテガニをはじめ、希少種を含む多くの生き物たちが、多様な生態系を形成している



三崎の海を海中散歩できる半潜式観光船、くじら(左)。リビエラシーボニアマリーナ至近にあるワッツ・バッグ直営店には、貴重な一点ものも！(右)



三浦半島には灯台がたくさんあるので、巡ってみるのも楽しい。この日は諸磯崎(左)と安房崎(中)と城ヶ島(右)の3カ所を回り、写真に収めた

「マリンチック街道」 行こう！ Route 5: 小網代

たまの休日、いい天気、ならばボートで出かけよう……となったとき……はて、どこへ行こう？ そんな迷える子羊たちの道しるべ、それが、全国の海の駅を拠点に周辺エリアをフネで楽しめる「お散歩クルージングのモデルルート」＝「マリンチック街道」だ。隔月でお届けしている本連載、気軽に、安全に、間違いなくボート遊びを満喫できるマリンチック街道へ実際に出かけ、その魅力をたっぷりお伝えします。

[文・写真] 編集部

23のモデルルートの
詳細については
こちらでチェック!!



話に戻そう。リビエラシーボニアマリーナのもう一つの大きな特長は、艇置や購入はもちろんのこと、シェア、レンタル、グランピング、イベの特筆すべき魅力といえる。

注目の「お楽しみ」

美しく静穏な小網代湾の海の素晴らしさは言うに及ばずだが、マリーナから15分ほど歩けば、約70ヘクタールにわたる奇跡の森「小網代の森」が広がっている。森林、川、湿地、干潟そして海までが連続して守られ残されており、関東地方ではほぼ唯一と言つていいほどの豊かな自然に触れられるのも、この地の特筆すべき魅力といえる。

マリーナと豊かな自然と

神奈川県、三浦半島の南に位置し、富士山を望む相模湾の絶景も目にうれしい今回の拠点、こあじろ・シーボニアマリーナ海の駅(リビエラシーボニアマリーナ)。
「ヨットマンの聖地」とも称される同マリーナの誕生は1967年。日本のマリンシーンの黎明期から数々の歴史を紡ぎ、プロ志向のセーラーたちをはじめ、海の楽しみを追求する多くの人々に愛され、憧れの的でさえある場所なのだ。